



# 豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第79号 R4.10.1

## 「とよの未来科」公開授業 ～ふるさととよの⑬～

9月12日（月）に、吉川小学校と東ときわ台小学校の2年生が合同で「初谷川での川遊び」の公開授業を実施しました。吉小サポーターの方々にご支援いただきながら、初谷川の自然を満喫しました。

お互いに自己紹介をし、川遊びをする際の注意点を確認し川遊びスタート！はじめは、それぞれの学校ごとに活動していましたが、すぐに打ち解け、「石の下にカニがおるから、そっと動かしてみ。」とアドバイスをしたり「いたいた！早くバケツ持って来て！」と声をかけたりする姿が印象的でした。

ちょうど、サワガニの産卵時期だったようで、おなかに卵を抱えたサワガニや産まれたばかりの赤ちゃんガニを見られました。子どもたちからは「卵持ってるから逃がしてあげよう。」「赤ちゃん見て～」という声が聞こえてきました。子どもたちが身近にある自然に気づき、今ある自然を大切に思ってくれることを願っています。



自己紹介をしてスタート！



「つめた～い！！」



「こことかおるんちゃう？」



「石の下におるんやで。」



「たくさんみつけたで。」



カニの赤ちゃん

## 15年間の「学び」と「育ち」をつなぐ一貫した教育の実現をめざして④ ～ 東能勢小学校 「ふたば園の園児との交流会」 ～

6月14日、ふたば園で保幼小交流会が行われました。来年度4月に小学校へ入学する年長の園児と、来年度前期学部で最高学年となる東能勢小学校現3年生が交流しました。あいにくの雨の中でしたが、3年生の児童は、交流会を楽しみに、一生懸命歩いてふたば園まで向かいました。

ふたば園では、年長の園児と自己紹介をしあつた後、「じゃんけん列車」と「ころがしドッジボール」をしました。3年生の児童は、ペアの園児のことを考えながら、自分自身も思い切り楽しんでいる様子でした。その後は、保育室へ行き、様々な遊び道具を使って一緒に遊びました。3年生の子どもたちは、まるで園児に戻ったかのように懐かしく、楽しい時間を過ごしていました。

はじめのうちはお互いに少し緊張した様子でしたが、遊びをとおしてどんどん笑顔が増えていき、最後は「もう終わり？」とお別れするのが寂しくなったようでした。3年生が優しく接する姿は、園児のみんなにはきっと頼れるお姉さんお兄さんに映ったことでしょう。次に会えるのは、年長のみんなが小学校の体験入学にやってくる時です。その時は、お互いにまた少し成長した姿で会えるといいですね。

（3年生児童のふりかえり）

- ・今日あるくのはつかれたけど、ふたば園であそびました。あそんだのはじゃんけんれっしょところがしドッジをして、とても楽しかったです。ふたば園の子たちはいい子でした。
- ・今日久しぶりにふたば園へ行って、先生もよろこんでくれてうれしかったです。おり紙やぬり絵、ころがしドッジも楽しかったです。2学期に学校に来たら、好きなことをさせてあげたいし、小学校を教えてあげたいし、「学校はこんなところ」というのを教えてあげたいです。



自己紹介



じゃんけん列車



自由遊び

## 小・中学校の「連携」と「協働」を深める

### ～第1回 西地区小中学校合同研修会開催～

8月末に、ユーベル（ロビー）で、西地区各小・中学校代表者会が企画した研修会が行われました。

第1回目となる研修会では、令和8年4月の義務教育学校開校に向け、「豊能町のめざす小中一貫教育と今後の進め方」についての説明と「東地区の取組み」の紹介等を教育委員会事務局より行いました。



こども未来部長の挨拶



西地区3小1中の教職員が一堂に会した初めての研修会

9年制の義務教育学校では、校長先生が一人、職員室も一つになります。新しい学校づくりに向け、教職員の交流を深めていきたいと思ひます。

